



羽衣国際大学Sports

文武不岐の実践を通して人間力を高める

BCthe ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7001 FAX 072-265-7005
https://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

活躍した選手たち



升谷翔洋(4年)
北摂つばさ高校出身

エースとしてマウンドに立ち、投手部門の主要タイトルである最多勝利(4勝)と最多奪三振でリーグトップの成績をあげる活躍を見せた。



砂川耀春(4年)
神戸国際大付属高校出身

全試合を4番打者として出場し、昨秋に続き安定した活躍を見せた。
【リーグ1位】本塁打(1本) ※他に5人
【リーグ2位】打率(.481)／安打数(12本)／打点(9点)／出塁率(.588)



ベストナイン(外野手) 初受賞

奥井大晴(4年)
日本航空高校出身

打率(.391)、安打数(9安打)、打点(8打点)、出塁率(.429)の打者部門でリーグ上位の成績を残し、勝負強さでチームの打線をけん引した。

【リーグ戦順位推移】	(勝率)	(順位)
2017 秋Ⅲ部	3勝4敗1分	.429 4位
2018 春Ⅲ部	4勝4敗	.500 5位
2018 秋Ⅲ部	4勝5敗	.444 4位
2019 春Ⅲ部	6勝3敗	.677 3位
2019 秋Ⅲ部	3勝4敗2分	.429 4位
2020 春Ⅲ部	【中止】	
2020 秋Ⅲ部	2勝3敗1分	.400 3位
2021 春Ⅲ部	3勝0敗1分	1.00 1位
(公式記録)入替戦なし		
2021 秋Ⅲ部	6勝2敗	.750 2位
2022 春Ⅲ部	7勝0敗1分	1.00 優勝
入替戦敗退 三部残留		
2022 秋Ⅲ部	4勝3敗1分	.571 3位
2023 春Ⅲ部	2勝5敗1分	.286 4位
2023 秋Ⅲ部	5勝3敗	.625 2位
2024 春Ⅲ部	6勝2敗	.750 2位



硬式野球部

春季リーグ 2位

近畿学生野球3部

【評】近畿学生野球連盟の2024年度春季リーグは、開幕から好スタートを切ったが、第4節の奈良教育大学戦では好投手を攻略できずに連敗を喫した。リーグ戦は大混戦となり、本戦を終えたときには3大学が同率首位(6勝2敗)で並び、規定により優勝決定戦に持ち越された。3大学による優勝決定戦はダブルヘッダー(1日に2試合)で行われた。第1試合は他大学による対戦で引き分け。本学が臨んだ第2試合は第4節で連敗を喫した奈良教育大学が相手だったが、エースの升谷翔洋(4年生)の気迫の投球をはじめ、4年生の活躍が光り逆転勝利を収めた。

しかし、続く第3試合は本戦の1節目で連勝した東大阪大学に敗れ涙をのんだ。これにより3部リーグ2位となり、今季もあと一歩のところまで優勝を逃した。それでも、勝率は7割5分と昨秋の成績を上回った。8試合の失点数こそ昨秋の25点から27点に増えたものの、投手の与四死球は26個から9個に、失策数は9個から6個に減少し、3試合連続無失策を記録するなど、バッテリーを中心とした守りに成長が見られた。

【評】近畿学生野球連盟の2024年度春季リーグは、開幕から好スタートを切ったが、第4節の奈良教育大学戦では好投手を攻略できずに連敗を喫した。リーグ戦は大混戦となり、本戦を終えたときには3大学が同率首位(6勝2敗)で並び、規定により優勝決定戦に持ち越された。3大学による優勝決定戦はダブルヘッダー(1日に2試合)で行われた。第1試合は他大学による対戦で引き分け。本学が臨んだ第2試合は第4節で連敗を喫した奈良教育大学が相手だったが、エースの升谷翔洋(4年生)の気迫の投球をはじめ、4年生の活躍が光り逆転勝利を収めた。

優勝決定戦で涙：成長の証

公式戦では実力以上のものが発揮できないと優勝と昇格は果たせない。来季に向けても守備力と打撃力の強化は必須の課題である。今春をもって4年生の多くが引退する。新チームの戦力(精神面)ダウンは否めないが、3年生以下の頑張りに期待し、チームのまとまりを強めたい。

大会成績	
◆2024 年度春季リーグ戦(Ⅲ部)	
【第1節】	○ 9-2 東大阪大学 ○ 4-3 "
【第2節】	○ 10-4 兵庫県立大学 ○ 10-0 "
【第3節】	○ 6-0 奈良大学 ○ 16-4 "
【第4節】	● 3-4 奈良教育大学 ● 0-10 "
【優勝決定戦】	
第1試合/奈良教育大学	3-3 東大阪大学
第2試合/羽衣国際大学	5-2 奈良教育大学
第3試合/羽衣国際大学	1-9 東大阪大学
【最終順位】	
優勝:	東大阪大学
2位:	羽衣国際大学
3位:	奈良教育大学
4位:	兵庫県立大学
5位:	奈良大学



奈良教育大学戦で左翼へ本塁打を放った石垣優星
主将としてチームをまとめた小西祐輝

和では、外野手として全国優勝に貢献。西鉄ライオンズ、阪神タイガースなどでは、外野手または一塁手として通算216本塁打(ブロンズ)を挙げた。甲子園大会に出場。日本通運浦和大会では、二塁手として春の甲子園大会に出場。日本通運浦和大会では、二塁手として春の甲子園大会に出場。日本通運浦和大会では、二塁手として春の甲子園大会に出場。

野球を通じて人間形成を図ります。学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習です。目指すは、●礼儀正しい大学野球部 ●文武不岐を目指す大学野球部 ●高校より感動できる大学野球部 ●皆から愛される大学野球部

監督 伊丹康治
日本体育大学で、捕手として明治神宮野球大会(3年秋)、全日本大学野球選手権大会(4年春)に出場し、それぞれ全国ベスト4へ進出。和歌山・初芝橋本高校では、コーチとして夏の甲子園大会に出場(のちに監督就任)。本学スカウティングスタッフ・部長・コーチを経て、2016年秋に監督就任。スポーツ振興課にて強化指定クラブの発展に尽くす。

部長 朝西知徳
筑波大学大学院 体育研究科修士(体育心理学)。山梨・日本航空高校コーチを経て、茨城・鹿島学園高校、鳥取・米子商業高校(現・米子松蔭高校)、本学、羽衣学園高校(初代)の4校で監督を歴任。夏の甲子園大会出場1回、中国大会出場6回(最高ベスト4)。監督として通算141勝(公式戦)。昭和から平成、そして令和まで30年以上、学生野球を通じた人間教育を続ける。

新入部員の紹介 ~ 9名の精鋭 ~



- 【投手】 小川 拓斗(奈良：大和広陵) 石田 朔也(福井：坂井) 谷口 天志(福井：福井商業)
- 【捕手】 本田 颯太郎(福井：坂井)
- 【内野手】 下川 鏡(徳島：徳島商業) 島本 北斗(島根：石見智翠館) 伊藤 弘太郎(大阪：吹田)
- 【外野手】 羽入 亮人(福井：坂井) 新名 馨(和歌山：紀北農芸)



硬式野球部 公式インスタグラム

女子駅伝部

西日本インカレ 6人出場へ



大阪城公園で練習会に参加しました

自己ベスト続出！ 関西インカレも力走

4月から2024年度のトラックシーズンが開幕し、部員は自己ベストを大幅に更新しています。

後まで勝負ができるようになった成果の表れでしょう。その結果、西日本インカレ（7月5-7日/福岡）に創部以来最多となる6人が参加標準記録を突破し、出場することになりました。

秋にある関西学生女子駅伝（9月28日/神戸）のためにペースとなるスピードの強化を図っています。西日本インカレ以降は長い距離のレースに参加して、駅伝に必要な対応力を強化していきます。

感想と抱負



岩本 真歩
現代社会学部
現代社会学部スポーツ4年

カレの標準記録まであと2秒となりました。必ず標準記録を突破し、全日本インカレに出場します。

高校1年生ぶりに800mと1500mで自己記録を更新することができ、入学時に立てた目標の1つを達成できました。関西インカレや西日本インカレの参加標準も突破でき、自信を取り戻せた前半シーズンになりました。

800mに出場します。前半から先頭に食らいつき、走り込みの成果を2周目で発揮できるようにします。過去最多人数で出場できるので楽しみつつ、自己ベスト更新と入賞を目指して全力で頑張ります。



中澤 麻友
人間生活学部
食物栄養学科4年

関西インカレでは1500mで初めて決勝に進出することができました。昨年の自己記録から7秒縮め、目標としている全日本インカレを目指します。



奥澤 虹雨
人間生活学部
食物栄養学科3年

調子が上がらず、自己記録更新は果たせませんでした。前半シーズンはフォーム改善に励みました。



河本 優希
人間生活学部
食物栄養学科3年

自己ベストを出すことができ、今までの練習の成果が結果に繋がって、嬉しかったです。今まで自分に自信がなかったのですが、少し持



木村 心咲
人間生活学部
食物栄養学科3年

初めて出場した3000m障害で、西日本インカレの標準記録を突破することができ、新たなステージに臨めそうです。



岡本 百萌子
人間生活学部
食物栄養学科1年

新しい環境の中で不安もありましたが、先輩方や同期に支えられ、楽しくレースに取り組みることができました。まずは怪我をしない身体づくりをし、筋力をつけて継続した練習が積めるようにしていきます。そして、来年度からは関西インカレや西日本インカレに出場できるように、積極的なレース展開をしていきます。



森井 結菜
人間生活学部
食物栄養学科1年

入学してからのレースは楽しさもありませんでしたが、タ

【大会成績】 ☆自己ベスト

- ◆大阪学生選手権大会
 - ▽800m (タイムレース決勝)
 - 中澤 2分20秒96 (7位入賞)、岩本 2分22秒38、河本 2分29秒67 ☆
 - ▽1500m (予選)
 - 中澤 4分52秒47、岩本 4分53秒12、木村 4分55秒01
 - ▽1500m (決勝)
 - ④中澤 4分41秒60、⑦岩本 4分47秒26 ☆、⑩木村 5分09秒08
- ◆大阪陸上競技記録会
 - ▽800m
 - 岡本 2分33秒62、森井 2分44秒26
 - ▽800m
 - 中澤 2分17秒74 ☆、岩本 2分20秒84 ☆、河本 2分25秒70 ☆、木村 2分29秒17
 - ▽1500m
 - 進藤 4分50秒22 ☆、奥澤 4分53秒70、森井 5分36秒35
 - ◆センコーチャレンジ
 - ▽1500m
 - 岩本 4分46秒10 ☆、河本 4分52秒47 ☆、森井 5分30秒28、岡本 5分35秒04
 - ▽5000m
 - 中澤 17分39秒26、進藤 18分20秒12、奥澤 18分06秒29、木村 18分50秒68
 - ◆大阪陸上競技カニバル
 - ▽1500m
 - ②中澤 4分35秒92 ☆
 - ◆奈良県選手権
 - ▽1500m
 - 中澤 4分35秒79 ☆、奥澤 4分50秒
- ◆京都産業大学記録会
 - ▽800m
 - 森井 5分15秒08、岡本 5分21秒72
 - ▽3000m
 - 木村 10分43秒49
- ◆関西学生対校選手権
 - ▽800m (予選)
 - 中澤 2分15秒73 ☆、岩本 2分19秒43
 - ▽1500m (予選)
 - 中澤 4分32秒65 ☆
 - 進藤 4分48秒61 ☆
 - ▽1500m (決勝)
 - ⑩中澤 4分32秒02 ☆
 - ▽5000m
 - 奥澤 18分49秒54
- ◆東大阪記録会
 - ▽800m
 - 河本 2分25秒89
 - ▽1500m
 - 進藤 17分46秒77 ☆、奥澤 17分57秒47
 - ▽3000m S C
 - 木村 11分38秒38
- ◆京都産業大学記録会
 - ▽800m
 - 中澤 2分18秒01、岩本 2分18秒23 ☆、河本 2分24秒96 ☆、岡本 2分33秒75
 - ▽1500m
 - 森井 5分20秒40
 - ▽5000m
 - 中澤 17分46秒77 ☆、奥澤 17分57秒47

【強化クラブ方針と人材育成】動画公開

強化クラブの方針「文武不岐の実践により人間力を高める」、育成する人材像「かけがえのない存在として、社会や地域に貢献できる人材」に込めた思いや取り組みを映像にして公開しています。

1話 強化クラブの方針



2話 強化クラブの人材育成



HAGOROMO_EKIDEN
女子駅伝部
公式Instagram

女子ソフトボール部

春季リーグ戦2部7位 関西学生女子



ソフトボールの2024年度関西学生女子春季リーグ戦は4~5月に行われた。2部の羽衣国際大は3季ぶりに単独チームで出場し、7位の成績をあげた。

春季リーグ戦を終えて

昨年度は大阪公立大学と合同チームを組んで秋季リーグ戦に参加し、貴重な

経験をさせていただきました。今年度は新入生7人が入部してくれ、春季リーグ戦に単独チームで参加することができました。戦績は2勝6敗で2部7位でした。部員たちは悔しかったと思いますが、1、2年生中心のチームであることを考えると、昨年の秋季リーグ戦より順位を1つ

あげられたのは、立派だと感じています。選手たちはキャプテン菅野を中心に、全員で最後までハッラツとプレーしていました。現在春季リーグ戦での課題に向き合い、秋季リーグ戦での更なる飛躍を目指して、練習を重ねています。これからも変わらず応援をよろしくお願い致します。

監督 岡本耕一

3季ぶりに単独チームで出場

毎日コツコツ 感謝の気持ちで

石田凜音(2年)

まずは、このような賞をいただくことができ、大変光栄に思います。秋季リーグでの悔しさもあり、苦しい日もありましたが、毎日コツコツ打ち込みを続けてきました。この受賞は遠くから応援してくれる両親とそばで支えてくれるチームメイトへの感謝の気持ちが形になったものだと思います。

この結果に満足せず、自分らしく今後も頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



石田が3賞受賞

盗塁賞 2部1位(8個)
打撃賞 2部1位(6割3分2厘)
ベストプレー賞

【大会成績】

◆関西学生女子春季リーグ戦
羽衣国際大学

○9-3

大阪公立大・京都先端科学大

○9-1

兵庫教育大合同チーム

●2-11

天理大

●2-14

大阪国際大

○12-8

びわこ成蹊スポーツ大

●0-12

立命館大

●2-12

神戸親和大

●0-5

京都産業大

●0-8

大阪体育大

○インカレ予選

●0-7

太成学院大

ソフトボール部の日々を振り返って

主将 菅野美樹(4年)



春季リーグ戦を終え、引退を迎えることになりました。4年間いろいろなことがありましたが、最後までソフトボールができたことを嬉しく思っています。これまで支えて下さったすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

インカレ、西カレに行くことはできませんでしたが、後輩たちと一丸となり、頑張ったことは私自身にとってかけがえのないものとなりました。

後輩たちの更なる活躍を期待してこれからも羽衣国際大学ソフトボール部を応援し続けます。

これまでに培った経験を活かして、社会人1年目から活躍します。ありがとうございました！

新キャプテンの抱負 上野優希(2年)

上野優希(2年)

(左から)副主将・高山まりな、主将・上野優希、副主将・田中愛海(いずれも2年)



「質実剛健、応援されるチーム」を目標に、チーム全員が思い切ったプレーし、互いに高め合えるチームを目指して、日々笑顔忘れずに精進して参ります。チーム一丸となり勝利をつかみます。これから応援をよろしくお願致します。

全日本総合大阪府予選3位



新入生7人が仲間入り



(後列左から)児島しの、古田百々加、岩本葉月
(前列左から)森田美海、悦田知奈、宮本杏弥、芝崎優花

大好きなソフトボールを楽しむため、チームの勝利のため、全力でプレーします！



HAGOROMO_UNIV
女子ソフトボール部
公式インスタグラム



UNIVAS AWARDS2023 - 2024 最優秀賞受賞



代表で表彰を受ける喜多努・バドミントンクラブ監督
(左/写真: UNIVAS)

大学スポーツ協会(UNIVAS)が主催するUNIVAS AWARDS2023-2024において、マイナビ賞「人材育成支援に関する優秀取組賞」部門で、「人間力を高めるスポーツ学生全員参加型合宿一強化クラブはONE TEAM」が最優秀賞を受賞した。また、MS&AD賞「安全確保に関する優秀取組賞」において、硬式野球部の取り組み「凡事徹底の大学スポーツ運営~規律を重視した安全管理の徹底~」が優秀賞、KDDI賞「大会・プロモーションに関する優秀取組賞」として「学生主体の大学スポーツプロモーション活動」が入賞した。

バドミントンクラブ

関西学生春季リーグ

1部を目指して!!



男女とも過去最高順位

女子2部3位

バドマガ賞受賞・柏瀬倫佳

近藤ももな



生野大空・野間凱心組



男子2部5位

竹内晴季・和田皐亜組

男子は2部Bブロックの1次リーグで厳しい試合が続いたが、諦めず粘り強く戦った。近畿大、追手門学院大に勝利し、大阪成蹊大に挑んだが、第1・第2シングルスを取られ、非常に苦しい展開となった。

しかし、4年生ダブルスの生野・野間組が踏ん張り、ファイナルゲーム13点で勝利。続く第2ダブルスの竹内・和田組も一進一退の流れを粘って、ファイナルゲーム19点で勝利し、最終

最終戦は劇的逆転勝利 頼もしい4年生の活躍

男子

【女子成績】2部

初戦	4-1	大阪体育大
第2戦	4-1	神戸親和大
第3戦	2-3	甲南大
第4戦	3-2	園田学園女子大
最終戦	4-1	大阪経済大

女子は2部上位リーグで3校が2勝1敗で並び、マッチ率で3位となった。Aブロックの1次リーグ第2戦で甲南大に2-3で敗れたが、第4戦で園田学園女子大を3-2で下し、上位リーグを混戦に持ち込んだ。最終戦はマッチ率・ゲーム率の勝負になると予想されたが残念ながら届かず。1部との入替戦への初進出はならなかった。

女子 マッチ率で上位リーグ3位 柏瀬が2部女子バドミントンマガジン賞受賞

2024年5〜6月に行われた関西学生選手権に羽衣国際大学からは男女計21人が出場。女子シングルスAに挑んだ近藤は3回戦でファイナルゲーム23-21と際どい試合をものにして勝ち進み、ベスト8進出を懸けた試合で第1シードの小林選手と対戦した。

ショットのコンビネーションが良い小林選手に第1ゲームを奪われたが、第2ゲームからはレシーブミスが減らし攻撃に転じた。スマッシュをライン際に決



キャプテン山口(左)・山川組

近藤が女子単Aベスト8 関西学生選手権 第1シード破る



関西学生3位の竹之内と小川(右)組

また、女子ダブルスBでは小川・竹之内組が3位に入賞する健闘を見せた。

めるなどして、ペースを自分に引き寄せた。ファイナルゲームも粘り強くラリーし、21-18で勝ち、準々決勝に進出。準々決勝はこの試合のダメージもあり、ストリートで敗れたが、粘り強く戦う感覚をうまく掴んだ大会となった。

【男子成績】2部

初戦	1-4	大阪経済大
第2戦	0-5	大阪産業大
第3戦	5-0	近畿大
第4戦	3-2	追手門学院大
最終戦	3-2	大阪成蹊大

シングルスAのキャプテン・生野に繋いだ。試合の流れも、勢いも掴んだ羽衣ベンチは雰囲気も盛り上がり、昨秋に続きキャプテンが最終戦を勝利で締め、3-2。男子は最高順位の5位となった。

大阪総合選手権

女子単

近藤3位、柏瀬8強

女子複

小川・竹之内組8強

関西学生選手権を挟んで行われた大阪総合選手権。シングルスは全国レベルの実力を持つ高校生が多く出場し、ベスト8は近藤と柏瀬以外は高校生となった。その準々決勝、柏瀬はジ

ユニアナショナルの神尾選手にストリートで敗退。近藤は米本選手に第2ゲームは取られたもののファイナルゲームは突き放し準決勝へ。準決勝は小林選手の長身からの角度ある攻撃ショットを取りきれず敗れ、3位となった。

女子ダブルスは小川・竹之内組が準々決勝に進出。社会人ペアのミスのない攻撃に押され、ストリートで敗れてベスト8だった。



新入生の竹之内はリーグ戦デビューとシングルスBでベスト16入り



大阪総合3位 関西学生ベスト8の近藤

新入生紹介

竹之内萌

(現代社会学科スポーツコース) 岡山県立倉敷中央高校出身

入学後、初めての個人戦が関西選手権でした。緊張や不安もありましたが、3位を取ることができました。悔しい試合もありましたが、私にとっていい経験になったと思っています。

次の大会ではより良い結果を報告できるように、この悔しさをバネに毎日練習に励んでいます。



バドミントンクラブ 公式Instagram